

INFORMATION

JAふかや安全・安心野菜システムについて(その二)

(一) JAふかや安全・安心野菜の取組状況

平成十四年十一月二十日から、「JAふかや安全・安心野菜システム」に参加した生産者のハウレンソウが出荷されました。

このシステムは一言でいうと、出荷前のハウレンソウをJAの残留農薬チェックシステムで分析し、分析データと栽培履歴情報を、出荷と同時にインターネットで、消費者・卸売市場・仲卸・スーパーマ

ーケット等に公開する仕組みです。ハウレンソウやネギなどの現物(ハード)に、情報(ソフト)をつけて消費者に届けます。

ですから、消費者がハウレンソウ一把買っても、パソコン画面で「私の買ったハウレンソウは深谷市の(どこ)の(だれ)が(どのように)に作ったものか？」が目で見分けるのです。

この取組みに参加する生産者は、平成十四年度産のハウレンソウで、大寄支店二十四人、八基支店三十四人、合計五十八人です。その参加者の作付面積は八・七ha、

出荷量八二tです。

うち、残留農薬の分析を行って、チェック済みのハウレンソウを出荷したのは一tで、全体の二三・四%を占めています。(表一)

取組み初年度ということ、分析に必要な抗体キットの不足や、結束テープの在庫処理等の関係で、一挙にこの取組みへの移行が進まなかった点がありました。ネギについては、八基支店の特裁部会五人が取組み、作付面積九〇a、出荷量約二〇tの全てが残留農薬チェック済みとして出荷されました。(表二)

表-1 残留農薬チェック済ハウレンソウの出荷実績

支店	作型	出荷時期	出荷量(ケース)	作型別出荷割合	販売金額(円)	ケース単価
八	チェック済ハウス減・減	14年12月	1,549	3.2%	4,042,200	2,610
	チェック済トンネル減・減	15年3月	665	1.4	1,904,000	2,863
	チェック済合計	15年3月	2,214	4.6	5,946,200	2,686
	一般ハウス減・減	14年12月	1,040	2.2	2,697,000	2,593
	一般トンネル減・減	15年3月	3,747	7.7	7,398,900	1,975
基	一般減・減合計	15年3月	4,787	9.9	10,095,900	2,109
	一般栽培	-	41,247	85.5	89,747,600	2,176
	総合計	-	48,248	100.0	105,789,700	2,193
大	一般ハウス減・減	14年12月 15年3月	5,418	13.4	12,875,000	2,376
	一般ハウス	14年10月	3,583	8.9	7,875,300	2,192
寄	一般露地	15年3月	31,346	77.7	72,436,700	2,311
	総合計	-	40,357	100.0	98,187,000	2,309

注)：15年3月14日現在

表-2 残留農薬チェック済ネギの出荷実績

支店	作型	出荷時期	出荷量(ケース)	作型別出荷割合	販売金額(円)	ケース単価
八	チェック済減・減1000番	14年12月	3,848	12.6%	6,455,000	1,678
	チェック済減・減2000番	15年3月	106	0.3	211,100	1,992
基	一般栽培	15年3月	26,533	87.1	35,680,850	1,345
	合計	-	30,487	100.0	42,346,950	1,389

注)：15年3月14日現在

(二) 取組みの反省

折から、食の安全性確保が国民消費者の関心事になっていることから、JAふかや安全・安心野菜システムによるハウレンソウ、ネギの出荷が始まった途端に、JAふかやホームページ(H.P.)へのアクセスが急増し、関心の高さをう

かがい知ることができました。(表三)

また、残留農薬チェック済みハウレンソウ・ネギについて、市場・スーパー・生協・商社などから、荷の引き合いの要請が多く、次年度の供給拡大が大きな課題となります。

表-3 JAふかやホームページアクセスカウント

年月	アクセス数	摘要
14年10月	857	
・11	2,793	日本農業新聞一面掲載
・12	2,269	NEKおはよう日本現地生中継
15年1月	1,611	
・2	1,706	
・3	1,312	
計	10,548	